こびとのおうちえんしんぶん 12月号

いやあ、11月はモクズがニの出現でもり上がりました！たてつづけに道（全然ちがうところ）で、3匹が数日ごとに見つかり、1匹目を食べたのがおいしかったのもあり、モクズがニさがしのさんぽがつづきました。そして、ワナをしかけるところまでいき、場所も変えながら待つ。ついに、ワナの中に入っている!!!という、もう興奮せずにはいられない時間をすごしました。。

スケートに川で遊んだりたな。川の音、だのが私にはギフト音線、景色い。たくましくなったかおる くだい つばめと。

かおるが下のたんぼのはぜがけにのぼって、あっきーに指をもってもらって、立って歩いた。

かおる「オレ、意外にやれるじゃん。」（11/5）

まり モクズがニがあみにかかっていて帰り道、「モクズがニとれました。見ますか？」って、通りがかりのおばちゃんに声かけたそう。（11/18）

「のぎく」のうた、いいですね。とつばめの父Mさんに言われた。つばめの母Aさんによると、つばめが家で「うたいたいから調べて。」といって覚えたそう。歌って、「ええ歌じゃろー」って言ったそう。今、「のぎく」は、すごいみんなの好きな曲になっていて、いつも大合唱になる。

この歌は、私の母が、野菊を前に歌っていた（母が小学生のころ運動会でおどった思い出のうただという）のをきいて、こどもたちと歌いたいと思った歌。　そのころ野菊がそこらじゅうに咲いていた。最初は、ポカンとしていたから、あんまりかないと思ったけど、ちさが歌いたいと言ったのをきっかけに、他の子にも浸透していった。私にとっても大切な歌になった。

みらいは、少しずつ私から巣立とうとしている。それでも、少し甘えたくて近くにくることもある。だけど、「だっこして」とは言わないので、私も「しようか？」とは言わない。

でも、そうしてほしいときも言わなくてもあるよね。と思って、昨日、久しぶりに「だっこさせて」と言ったらいやがった。こっちからいくといやみたい。すなおじゃないなあ、と思ったけど、でも、それでいいよ。と思った。

今日、みらいがおひるごはんとなりにしよう。」とさそってきた。そして、「久しぶりやね。」と言った。おやつのときは、こっちを遠くから立って見てるから、「となりくる？」ときいたら違うところにすわった。複雑なこころ。ね。（11/25）

山の広場、新山の広場、宮島（という場所が山の中にある）、山ですごすと、午前中だけや別ずに昼からも！で1日中熱中して作ったり、遊んだりすることが増えている。森の中で過ごすのが楽しい季節がやってきた。

なんにもないところから作りだすこと。

なんにもないから どんどん空想の中で あそべること。

あるものを生かすこと！

なんにもないんじゃなくて、なんでもあるんだよなと思う森の中。

しおりが「マラソンする！」といってたはるだいについて走って、ゴールした後も しばらく はーはー いってすわりこんでいたのが印象的だった。でも笑顔。記録更新。（11/10）

はるだい 年中 少 だけで室積の浜に行ったとき、すぐに動き出した。落ちてる棒でいえをつくり、木公ぼっくりをあつめてかざる。何だかとても たのしく見えた。二人は、この子らが、ひっぱっていくんだなあ〜となんだか 未来が見えた。（11/12）

浜でのけいどろは、足がうまってキツかった。へとへと〜〜。あこりんがずっとかろやかに走って追ってきて われしも、あっきーも あこも へとへと〜〜。あこりんが こわい〜〜。そして笑っておいかけてくる かのんもこわい。

キッチンスタッフより

私の子ども達がまだ小さかった頃、よく絵本を読み聞かせした。また、子どもを寝かせるときによくしていたのが、自分で適当に作ったお話を布団の中で語る、ということだ。子どもたちには、こっちのほうをよくせがまれていた気がする。「あるところに、そらとまことという二人の王子がいました…」という具合だ。お話の中で、そら王子やまこと王子は、すごく力持ちだったり、宝物を見つけたりする（話すこちらのほうが先に眠くなってしまい、話が途中で終わってしまうこともよくあったが）。

本好きの長男が小学生のころ、「獣の奏者」という長い本を熱心に読んでいた。エリンという主人公と、王獣（おうじゅう）や闘蛇（とうだ）という実際にはいない生き物の物語だ。そしてそのころ、ちょうど その本がテレビアニメ化されて放映されるということになった。長男は喜んで、毎週楽しみに観ていた。しかし、しばらくしてこう言った。「本で読んでいるときは、自分で王獣や闘蛇の姿、大きさ、色なんかを、こんな感じだろうと想像できていたのに、テレビを観てからは、いくら想像しようとしても、テレビで観た以外の絵が思い浮かばなくなった。」こうなしか彼は残念そうだった。そして私もとても残念に思った。

目から入ってくる印象というのは、特に子どもにとっては、かなりの影響力があり、想像力を使うことを邪魔するんだなと改めて感じた。なので、やはり大人は子どもの目に入るものを選ぶときは慎重になるべきだろう。

大人になった私も、同じような経験を、ハリーポッターやナルニア国物語ですることになった（ハリーポッターの本を先に読んでから映画を観た人でも、もう一回本を読んだときに、主人公をあのハリー以外の顔で思い浮かべることができる人、いますか？）。

絵本やテレビ、それに今は、おうちえんの子どもたちからもYou Tubeでねという言葉をよく聞く。楽しく、ためになるものもたくさんあると思う。でも、時々は趣向を変えて、語り、というのもおすすめしたい。

「森の中を○○ちゃんが歩いています」その森は、どんな森かな？花は咲いている？ドングリは落ちている？葉っぱは色づいている？○○ちゃんはどんな服着てる？…　絵のない1つの文章からは限りない想像が溢れてくる。

多分（失礼ながら）きっと子どもたちのほうが、お父さんお母さんより上手かもしれない。そして、そのような想像力こそ、子ども達が大きくなって困ったとき苦しいときに、内側から支え、いろいろな可能性を探り出して、そこを乗り越える大切な力になってくれるのではないかと、（大げさなようですが本当に私は）思っている。

大下 里香

11月はこんなことしました。

- 琴石山にのぼる
- 年長児 舟づり
- うどんづくり
- 山の広場でおひるごはん作り
- リレー
- やきいも
- モクズがニをとる
- だるまさんがころんだ
- Sけん
- くさぎの実をとる（染色用）
- 干ししいたけづくり
- 年長児 琴石山体験コースをいく
- 年中・少 児室積海水浴場の浜であそぶ
- おそとでおりがみ
- 木のぼり
- 山であそぶ
- けいどろ
- どんぐりピタゴラスイッチ
- つるのめがねづくり

etc…

12月のお母さんグループ

17日(木) 13:00〜15:00

場所 大野地区老人作業所

内容 フィーリンググループ

〜自分をゆっくりかんじる時間。メンバーの気もちをききあう時間をご一緒しましょう〜

☆参加の方は、事前にご連絡ください。当日でもOKです。

おしらせ 冬休みは、R2 12/26(土)〜R3 1/4(月)です。

☆12月のスタッフプラン☆

3日(木) おべんとうのひ　弥山にのぼろう

- 山であそぼう
- リースづくり

※詳細は、メールでお知らせしたとおりです。おべんとうの準備等よろしくお願いします。

＿＿＿＿＿ の様子をおしらせします